



パトロールメンバー



ユウパリオキンバイ

今年もヒュッテ開きに先立って登山道整備とパトロールのため夕張岳に登りました。
 二三日土曜は夕張市清水沢での登山研修会の後ヒュッテに移動し、翌日のパトロールに備えました。会員外の応援もあり自己紹介を交えて、ささやかでも楽しい夕へのひと時をすごしました。
 一四日は六時にヒュッテを出発し、冷水コースから登り始めます。この度は木杭の荷揚げがありますが、参加人数が多く心強いです。登山道自体の損傷はありませんが、倒木や折れた枝が道を心ざいでいます。鋸で切り、人力で寄せて道を開けます。

花の夕張岳ですから、開花状況も気になります。樹林帯では開花がやや早いようです。ムラサキヤシオ、オオカメノキは既に終盤を迎えています。残雪状況はどうでしょうか。例年この時期、石原池の雪も溶け、カエルの卵がたくさん見られます。二ヶ所目のロープ設置作業ヶ所は蛇紋岩崩壊地です。同時に植物調査も行います。ユウパリオキンは既に咲き終わった個体が多く開花が早かったことが分かります。嬉しいことに個体数は昨年より増えているように思われます。シンバキスミレの個体もわずかながら見受けられます。
 今年の融雪と開花の早さ考えると、吹き通しのユウパリオキやナンブイナズナもピークを過ぎてきているのではないかと心配になります。もとより自然を相手なのでそれも仕方ないことです。一四〇〇m湿原の大雪渓もまったく残っていません。



登山道整備



石原平のロープ設置

例年、前岳のトラバース部分の大雪渓も滑落に気をつけながら進むのですが、そんな心配も要らないうちに雪が降り、その低温のせいで、高山の礫地では開花が遅れたものと思われれます。
 吹き通しのロープ設置作業をしている間、数名で山頂へ向かいます。山頂付近ではエゾノハクサンイチゲが見頃を迎え満開です。金山コースから二組の登山者が来ていました。山頂からの展望はあまり得られず少し休んでから下山開始です。
 望岳台付近のシラネアオイが朝より開いていて愛らしくその姿に癒されます。
 パトロールのため下山は馬の背ルートを使います。こちらの登山道も大きな損傷がありません。林道も修復し、ヒュッテ開きの日には大勢の登山者が訪れることが予想されます。徐々に開花が遅れたユウパリオキが満開の姿で登山者を迎える様子を思いながらパトロールを終えました。



第100号
 2015.8.28 発行
 (平成27年)
 ユウパリオザクラの会
 事務局
 〒068-0412
 夕張市鹿の谷東丘町 3
 水尾君尾方
 TEL/FAX 0123-52-3306
 携 帯 090-8632-8928
 E-mail
 kozakura@m8.dion.ne.jp
 ホームページ
 http://yuparikozakura.org/
 ようこそ花の夕張岳へ

今後の活動予定

富良野芦別道立自然公園 指定60周年記念事業 「南極」講演会と 映画上映会

夕張岳は1955(昭和30)年4月「富良野芦別道立自然公園」に指定され60周年を迎えました。夕張岳の高山植物は多くの学者により研究され、1913(大正2)年「ユウパリオザクラ」が英国で報告された以後も固有種の発表が続き、花の名山としての冠がつけました。国の天然記念物指定(1996(平成8)年6月)後、北海道は「生物多様性保護条例」を制定し官民による保護活動の取組を行っています。夕張岳の自然を未来永劫に残して行くために南極観測隊雪氷研究者の講演会と高齢者集団手作りの映画上映会を開催します。皆様のご来場をお待ちいたします。

- 開催日**
10月10日(土) 午後1時~3時30分
- 会場**
市民研修センター 大会議室
清水沢宮前町 ☎0123-59-6111
- 記念講演**
「南極から北海道の自然環境を考える」
講師 藤井 理行
第32次南極観測越冬隊長
前国立極地研究所所長
- 映画上映**
「赤い夕陽のジュリー」
(制作 田んぼdeミュージカル委員会)
記念トーク 斉藤 征義
脚本家 田んぼdeミュージカル委員会事務局

会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリオザクラの会へ入会又はご寄付をよろしくお願いいたします。
 年会費 2,000円 家族会費 3,000円
 名義 ユウパリオザクラの会
 ゆうちょ口座 02780-9-43747

第四回 森林パトロール

登山道の補修作業、自動カメラ・防鹿柵撤収等の作業を行いますのでご協力願います。
日時 9月27日(日) 午前6時
 ヒュッテ前

第五回 森林パトロール

登山道の補修作業、ロープ撤収作業等を行いますのでご協力願います。
日時 10月10日(土) 午後4時
 清水沢お買物駐車場集合
 10月11日(日) 午前6時
 ヒュッテ前
 参加希望者は事務局まで



ヒュッテの冬囲い

ヒュッテ母屋・炊事棟の冬囲い、薪の搬入整理、トイレ尿尿汲取り等の作業を行いますのでご協力願います。
 参加希望者は事務局まで
日時 10月24日(土) 午前9時
 10月25日(日) 午後3時
発着 清水沢お買物駐車場



引き続き 夕張岳ヒュッテ 炊事棟建設にご支援を!!

2015年4月~8月15日現在
 120口 220,653円 ありがとうございます。
 名義: 夕張岳ヒュッテ管理運営委員会
 ゆうちょ口座: 02750-6-97634

五月一六日、夕張市民研修センターにおいて、市民講演会「高山植物とエゾシカ」が開かれました。講師は、北海学園大学工学部教授で、長年北海道の高山植物について研究を進めてきた佐藤謙氏と、酪農学園大学大学院生の頃から現職に至るまで夕張岳の高山帯におけるエゾシカを研究している私です。



佐藤謙氏

まず杉浦より、夕張岳でのエゾシカ被害対策の歩みを「夕張岳とエゾシカ 二〇一〇〜二〇一四」という題目で発表がされました。そもそもエゾシカとはどのような動物なのかという説明に始まり、ハーレムを作る一夫多妻制であることや、森林と草原の境界である林縁部を主な生息域としていること、ほとんどの植物を食べること等が解説されました。夕張岳の高山帯において、高山植物への被害や踏み荒らしなどの被害が散見されるようになり、高山植物の被害拡大防止のための防鹿柵の設置が実施され続けています。柵の内外で植生調査を実施し、エゾシカによる影響を調査し続けていますが、現在のところ、柵の内外で明確な差は出てきていません。しかし、長期的に観察し続けることにより、累積的影響によって変化が現れるかもしれない。よって、その時の変化を知るための重要なデータとなります。

市民講演会

「高山植物とエゾシカ」

会員 杉浦 晃介

雪山、知床半島などの地域を例に説明がされました。知床半島ではシカの嗜好性が高い植物が徹底的に食べられ、シカが好まない植物で覆われています。しかし、防鹿柵を設置すると、かつての植生が徐々に再生してきているとのこと。自然の持つポテンシャルについて気づかされる結果となつていきます。大雪山では黄金ヶ原や五色が原でのエゾシカによる植生変化について説明され、夕張岳の高山帯でも同様に、シカの好まない植物やシカによる採食に耐えうるイネ科草本が拡大していることが示されました。



杉浦晃介氏

て説明されました。これらの希少な高山植物をエゾシカによる採食から緊急避難的に守るために、どのような対策を講じていくべきなのか、夕張岳を登って現状を把握し、行政を含む関係者全体の合意形成を図ることが重要であるとしていました。夕張岳の希少な高山植物を次世代に継承していくためには、今我々がしなければならぬことは何なのか一緒に考えていく必要があります。



た。そうした変化は、植生調査だけではなく、写真によって明瞭に理解できます。花のアップの写真だけではなく、同じアングルで風景を写し続けることにより、簡単に変化を理解することが出来ます。つづいて夕張岳の自然の特徴について解説されました。地質・地理学的特徴から夕張岳がどのように形成されたか、夕張岳の蛇紋岩地や輝緑岩地に特有な高山植物とはそれぞれどのようなものか、写真を多用し

安全登山研修と講演会

六月二三日(土)

夕張市市民研修センター

本年度の森林パトロール・高山植物パトロール実施に先駆けて、市民の参加も得て研修会が開かれました。講師の副代表桑野公彦から登山するに当たって大切な計画・装備・行動を夕張岳パトロールに活かすべく心を改めました。続いて、幼少期から夕張で育った浴山正久氏(夕張北高出身・道庁OB)が、活気溢れていた古き時代の夕張の人々の生活や人間模様を自身が懐かしむように語り、参加した市民の郷愁を誘いました。



浴山 正久氏



桑野 公彦氏



浴山氏を囲んで

官民合同パトロール

六月二日(日)

会員 伊藤 泰弘

ヒュッテ開きの翌日、快晴の下官民合同パトロールを行いました。まずは登山口でチラシを配布。いざパトロール登山開始。道々でもチラシを配布しながら登山道に異常無いか、高山植物盗掘跡が無いか等を確認しながらのパトロール。それ以外の作業として、木道にすべり止め板の打ち付け。濡れた木道は結構滑ります。私も何度も尻餅ついたことあります。合わせて木道上に流れ出ている川筋の変更(水が木道脇を流れるように)作業もついでに行う。それから木道の危険箇所には赤テープの巻き付け。これは足場が弱くなっている所を通るとガクツとしてびくつとするので、事前にお知らせが目的。以上すべて木道がらみの作業でした。



高山植物も多く咲き乱れパトロール隊を和ませました。その中で今日は「ナンブイヌナズナ」を少し紹介します。まずはインタネット調べてみることに。そしたら「南部犬齋」と書くようだ。イヌとはわんわん

の犬だった。南部とは岩手県南部(早池峰山)で最初に見つけたかららしい。そして何故犬なのか?興味のある方は詳しく調べてみて下さい。話を元に戻して今日のパトロールは空知総合振興局が主催し、民間の参加は、コザクラの会が四名。酪農学園の学生が六名でした。昨日のヒュッテ開きで銘酒「水尾」を飲み過ぎた会員も無事登り切りしました。それとなんといいても楽しいのは、高齢化のコザクラの会としては、若い学生さん達との登山です。パトロールの結果、盗掘跡や踏み荒らしなどは見当たりませんでした。この日は快晴だけに登山者は一〇〇名を超える勢いで、チラシが足りなくなりました。なお当日配布したチラシは次の二種類「富良野青別道立自然公園のガイドブック」「指定希少野生動物植物図鑑」



七月九日二回目の官民合同パトロールが行われ当会から二名が参加した。この日は道警のヘリコプターも飛んで、空からの監視飛行を行った。この日のことは、「ゆうばりニュース」に全体的に八月号に載りました。



第7回「旧産炭地域 子ども交流事業」

「がんばれ北の大地・夕張応援基金」助成



第7回旧産炭地域子ども交流事業は7月自然の中での「のびのびお習字」が加わり、衛星電話で「南極は寒いですか?」と昭和基地の隊員2日目は泣き出しそうなお天候はでしたが、雨具を装備した登山組は元気に頂上を踏むことができました。小学生組も

25日(土)26日(日)おこなわれました。と直接お話しするなど新しい体験もできました。このことは地元ローカル紙に掲載されました。園児・小学生低学年組も夫々みんな元気に頑張りましたよ。子ども達20名、大人14名、スタッフ23名総計57名でした。



普段は単独か、気の知れた仲間だけのパーティに慣れてしまっていたので、中学生班のリーダーとしての重責に戸惑いましたが、ベテランの渡辺さんや本州からはるばる参加の仲前さんにもアシストいただき、全員無事で登頂し下山することができました。さすがは中学生パーティで、終始元気で先頭を煽る勢いがありつつハイペースになりました。生憎頂上からの眺望はありませんでしたが、良い思い出に残ってくれば良いと思います。

そんな天候を苦にせず子ども達は元気におしゃべり。その街中を散歩するようなおしゃべり。誰も音を上げず頑張っておしゃべり(笑)。今日は天候のせいもあり一四〇〇mの水場を頂上としました。好天であればみんな頂上まで行けたでしょう。今日は約八時間の山行。子ども達の健脚ぶりあつぱれでした。

(中学生チームリーダー)

菊地 宏治

(園児と小学生低学年グループ)

副リーダー 秋元 和之

C班は園児と小学校低学年の家族七名と秦野さんをリーダーとした総勢十一名で前岳湿原を目指しました。ゆつくりペースで進みましたが、雨具を着たり脱いだりで少し疲れました。冷水の沢で元気を回復し、お花がきれいな石原平に来ると皆の顔が輝いて見えます。残念ながら展望のない望岳台を過ぎ憩の沢で雨風が強くなってきたので今日はここまで、皆よく頑張りました。夢ちゃん、花ちゃん、鈴菜ちゃん、りおちゃん来年は山頂目指して頑張ろう!!。

(小学生チームのリーダー)

伊藤 泰弘





自由に筆を走らせた子ども達

習字教室講師 比志 道子

旧産炭地域 子ども交流事業に今年も山習字を体験することができました。全紙や二八の用紙に、自分の名前や「夕張岳」など、自由に筆を走らせました。山で書くことの面白さを体験したのは、新しいヒュッテが完成したとき、藤井純一代表に「夕張岳ヒュッテ」を板に書くことを依頼され、大自然の中で私自身が体験したことがきっかけです。宇宙と人間のつながり、そこに生まれる文化の営みが山習字とつながりました。子ども達の筆の持ち方が、なんともやわらかいこと、登山後の教室で観た感想です。又今回の第七回子ども交流事業のメインイベントとして「夕張岳ヒュッテと南極昭和基地記念通話」が実現されました。ヒュッテペランダに「太陽光発電システム」が設置され、二五日は子ども達のための記念通話の日、トッ

プは厚別北小六年生北名侑生君「日本は猛暑ですが南極は寒いですか」。「こちら基地。本日はマイナス二四度です」続いて夕中一年生の鈴木裕作君は「南極の海に落ちた人はいたのですか」。過去に命を失った越冬隊の方がおります。など、交信しました。私は保護者を代表して、「夕張生まれで八四歳です。今日は大自然の中で、子ども達と習字しています。基地のお仕事は大変なことと存じます、お身体ご自愛下さい」と交信しました。藤井代表は「子ども達のため記念通話にご協力を頂きありがとうございます。と謝辞を述べました。」と謝辞を述べ、夕張岳登山と習字で今



まで体験したことのないしあわせを感じ、感謝していただきます。ありがとうございます。

総会

平成二七年度総会は五月一六日市民研修センター会議室で開催、新年度の夕張岳自然保護活動、夕張岳ヒュッテ管理運営活動の計画が承認されスタートしました。



活動報告

七月二二日ユウパニコザクラの会主催による空知管内三団体交流登山会が夕張岳で開催されました。「雨竜沼湿原を愛する会」は国定公園に指定された平成二年に結成され外来植物駆除活動、自然観察会などを行いながら雨竜沼湿原の保全とPRの活動に努めてきました。

「ユウパニコザクラの会」は、昭和六二年、当時の国土計画による夕張岳大規模スキー場計画を契機に平成元年に会を発足してスキー場計画反対運動や夕張岳の自然保護の取組。

夕張市再建団体のヒュッテ管理や新し

いヒュッテの建設、そして現在は新しい炊事棟を建設しております。平成八年には国の天然記念物に指定され、平成二四年に日本山岳遺産に認定されたのは高山植物や特殊な蛇紋岩メランジュ帯が国の文化財として、充分価値あることを知らされたことです。

夕張岳ヒュッテ一五時に、三団体一五人が集まりそれぞれの活動について報告し、ジギスカンを囲んで意見交換をする。そ

空知三団体交流登山会に参加して

副代表 秦野 公彦

それぞれ高齢化が進みパトロールの自然保護に大変苦労することを話し合う。来年は雨竜沼で会うことを約束して散会する。

七月一三日は冷水の沢からの登山。昨日の交流でお祝いしたのがよかつたのか天気は快晴、六時にヒュッテを出発して石原平、すでにシラネアオイの群落は終わっているが滝ノ沢岳が大きく見える。望岳台からは芦別岳方面の展望が開け夕張山系の山脈がはつきりと見える。崩壊地では雪解けの遅い所でユウパニコザクラの花が咲いていて、

一四〇〇m湿原では、黄色やピンクの花が一面に咲いていた。木道の縁に最近の思われる熊の糞を発見、充分注意をしながら登ろうと声をかけあう。吹き通してはすでにユウパリスウ、ナンブイヌナスナ等の固有種の花は終わっていた。高山植物に大変興味を持って御夫婦が最後の登り口で、「これはなんというクワガタですか」と問いかける、私は北海道高山植物図鑑でエゾミヤマトラノオと答えたのですが、エゾミヤマクワガタと同じとわかる。その他ユキバヒコタイとウスユキトウヒレンの違い等、随分と学習することが出来た。

頂上の展望は三六〇度、大雪山に十勝連峰が見えてすばらしい眺望と喜んでくれた。下山も予定の時間で下り。一五時夕張岳ヒュッテで流しソーメンを食べ、五時三〇分、来年雨竜沼で会うことで解散する。



交流登山を終えて

当日六時には全員集まってくれてせしせ登山装備を確認し出発。高校生、中学生にはレーシングチームで鍛えている子が



夕張岳頑張りましたよ

知事賞ものである。企画者の頭の柔らかさに拍手を送りたい。この登山会を企画していただいた市の関係者の言葉に「どんなことでも現場に足を運びからだで体験する」同感です。これが子供たちにもよい経験につながり次世代にバトンが繋がります。なかなかできないことに身を持って引っぱって行く関係者に夕張市民の光明を感じ取りました。そして参加してくれた親子たちにあたたかいエールを送ります。流しソーメン隊が作つ

第一回親と子夕張岳体験

登山を終えて七月三〇日

リーダー 明田 通世

てくれた冷たいソーメンありがとございませ。ごちそうさま。

き話し声が絶えない。また「日本三鳴鳥」のウグイス、コマドリが森にこだまし子供たちは新しい感覚を受けとる。望岳台で大休止をとり小腹を満たしお花畑に入る。見慣れない数種類の高山植物に目を見張り、親子共々この夕張岳の美しさを肌で感じ取る。吹き通しまでくると山登りの厳しさが身体に伝わる。中には足が前に出ない。山頂での新幹線歓迎セレモニーにビックリ、この自治体も真似が出来ない。これは北海道



北海道新幹線あと200日

アポイ・ユウパリ交流学習登山

五月三〇(三)日様似町において「アポイ岳安全登山・盗掘防止研修会兼アポイ岳ファンクラブ・ユウパリコザクラの会交流学習登山会」が開かれ、当会の水尾、伊藤、杉浦の三名が参加してきました。

学習会では、さつぼろ自然調査館の丹羽真一氏より、在来種のマルハナバチと外来種のセイヨウオオマルハナバチの解説と生息状況について講演がありました。夕張岳ではセイヨウは確認されていないとのこと

学習会後の交流会では、夕張岳とアポイ岳の両山が抱える課題について活発な意見交換がなされました。アポイでは、若い頃活動したメンバーが戻って来て「世界ジオパーク」を目指し動力役を担うという心意気に感動しました。途中「アポイ岳盗掘防止ボランティア」も乱入してきて大いに盛り上がりました。



ヒュッテ開き

六月二〇日(土) 小林教育長の出席も得、奥信州の地酒「水尾」の鏡開きを合図に、ヒュッテ開きと登山シーズン中の安全を祈願しました。今回は、工事中の炊事棟床面を急増の舞台に見立てて、最初で最後の安全祈願演芸会も行われました。

M女史やDさんの日本舞踊、U女史の詩吟の吟詠、H副代表のハーモニカ吹奏、おやしバンド「マイクローファイブ」によるジャズ演奏などが風薫る新緑の山中で行われたわけです。



小林教育長あいさつ



会のうごき

- 4月
 - 16日 北海道新聞野生生物基金 30万円決定
- 5月
 - 8日 北海道高山植物保護ネット総会出席 藤井代表 事務局長
 - 9日 役員会 7名
 - 13日 万計山荘友の会結成20周年会 講演藤井代表 他2名出席
 - 16日 平成27年度総会 14名
 - 16日 講演会「高山植物とエゾシカ」入場者35名 市民研修センター
講師 佐藤謙(北海学園大学教授) 杉浦晃介(株:セ・プラン)
 - 16日 夕張岳パンフレット作成打合せ会議 5名
 - 22日 夕張市教育委員会まちづくり企画室訪問 基金活動説明
 - 26日 空知森林管理署訪問 調査・パトロール活動打合せ
 - 30~31日 アポイ岳安全登山・盗掘防止研修会 兼 アポイ・ユウバリ交流学習登山会 様似町 28名 当会3名
- 6月
 - 2日 夕張岳関係者協議会 夕張市役所 当会3名出席
 - 6日 ヒュッテ周辺美化、ソーラーパネル設置、炊事棟作業等 8名
 - 6日 役員会 7名
 - 13日 安全登山研修会 講師: 浴山正久氏 市民研修センター 20名
 - 14日 第1回森林パトロール 兼登山道整備、清掃登山 17名
 - 20日 ヒュッテ開き 炊事棟建前 小林教育長出席 22名 兼 安全祈願演芸会
 - 21日 高山植物パトロール 6名
官民合同キャンペーン監視登山 当会10名 チラシ配布当会4名
 - 27~28日 エゾシカ及び希少種調査 協力酪農学園大学生 計7名
 - 30日 多世代交流促進助成事業プレゼンテーション 事務局長
- 7月
 - 5日 第2回森林パトロール 6名
 - 5日 「夕張岳体験登山及び道立自然公園指定60周年記念事業」助成決定
 - 9日 トイレの尿汲み取り運搬作業 3名
 - 9日 官民合同合同監視登山 当会2名
 - 11~12日 空知管内三団体交流研修会 合計15名
 - 14日 シューパロダム湖活用意見交換会 出席事務局長
 - 16日 役員会 8名
 - 25~26日 第7回旧産炭地域子ども交流事業 子ども20名他 総勢57名
 - 30日 第1回親と子夕張岳登山会・多世代交流促進事業 総勢25名
- 8月
 - 22~23日 第3回森林パトロール 金山コースと交差巡視 8名

夕張岳ヒュッテに ソーラー発電システム



ソーラーパネル設置

今年六月、夕張岳ヒュッテにソーラー発電システムが導入されました。これは「北海道山メーリングリスト」という組織のメンバー達が共同執筆して発行した「最新版北海道スノーハイキング」の印税の一部

が寄贈されたのを基金としたものです。ヒュッテやトイレ棟や炊事棟の夜間照明を担っています。従来はガソリンエンジンの発電機で賄ってましたので年間五万円程のガソリン代が節約されるよていで。会員のKさんの設計施工です。
また同じ基金の一部はヒュッテの非常電話にも役立てました。ヒュッテ周辺は山の中なので携帯電話各社とも圏外地域なので、衛星電話を室内でも固定電話式で使えるように改良しました。



非常電話

変わって、ヒュッテで使ってる水は夏でも常時七℃程とビールが美味しく飲める適温ですが、手を洗ったり食器を洗ったりしていると手が痺れて耐えられない程冷たいのです。同じくKさんはこの低温を活用して冷蔵庫を造りました。クーラーボックスの

上下に二つの穴を明け、中の壁部分にパイプを巡らして常に冷たい水を通させたのです。外気温が二二℃の日に測定してみたら七℃の水が流れて庫内が八℃でした。ヒュッテの管理や炊事棟工事に泊まりこむ会員の食料保存に役立っています。



中にパイプを巡らしたクーラーボックス

コザクラだより百号に思う

事務局長 水尾 君尾

あなたは「スキー場」と「貴重な自然の宝庫」のどちらを選びますか?、との見出しで始まる手書きの「コザクラだより」が会報の一号でした。自然の宝庫、花の夕張岳の紹介が丁寧に掲載されています。

夕張岳をスキー場開発から守り、国の天然記念物指定を目指す初めての活動は、リゾート法に立ち向かい世間の波に翻弄される船出でした。

それでも、いつも旗幟鮮明にした活動と広報で、多くの人々の支持を頂いてくることのできました。

今ここで百号の発行は感無量ですが、会としては通過点に過ぎず、今後に向かって更に気を引き締めなければとの思いです。

二七年間、常日頃陰に陽にご支援ご協力頂いている方々には深く感謝致しますとともに、今後ともよろしくお願い申しあげます。